

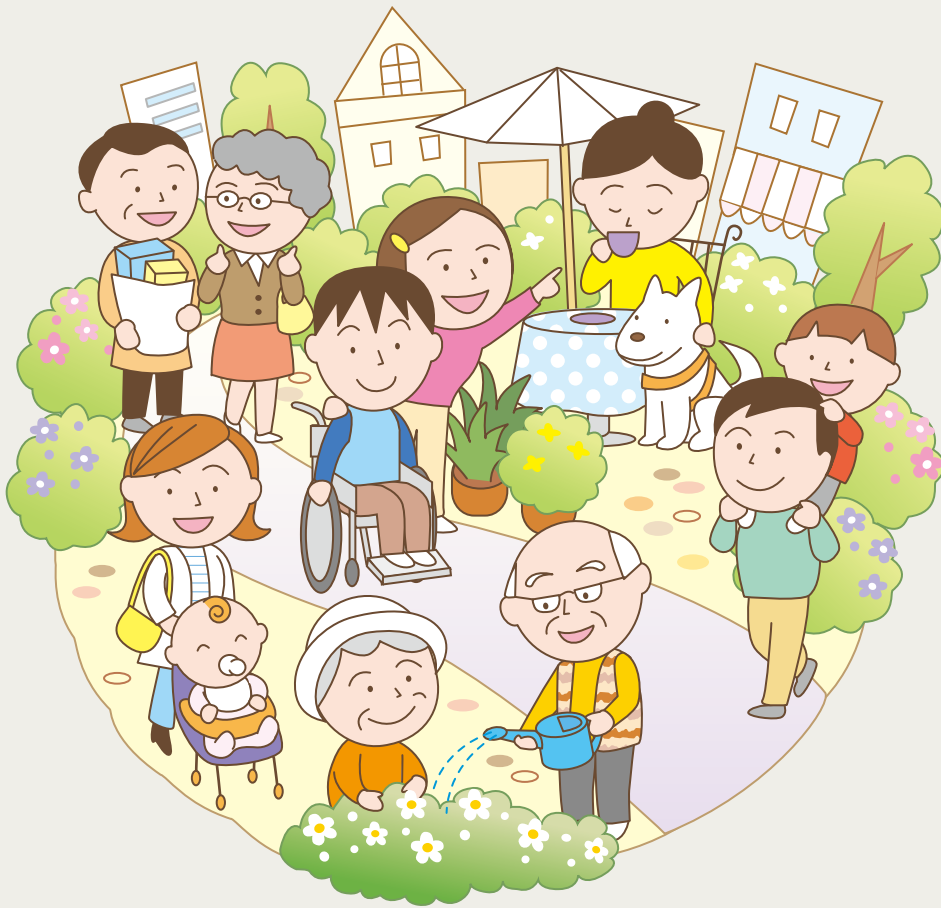
ちょうふししょうがいしゃそうごうけいかく 調布市障害者総合計画

がいようばん
(概要版)

ちょうふししょうがいしゃけいかく
—調布市障害者計画—
(平成24年度～平成29年度)

ちょうふししょうがいふくしけいかく だい き
—調布市障害福祉計画 (第3期)—
(平成24年度～平成26年度)

しみん だれ す な ちょうふ ひと く
市民の誰もが、住み慣れたまち・調布で、いきいきと、その人らしく暮ら
していく社会をめざすため、
しゃかい ちょうふししょうがいしゃそうごうけいかく さくてい
「調布市障害者総合計画」を策定しました。



ちょうふししょうがいしゃそうごうけいかく 調布市障害者総合計画とは？

けいかく ちょうふし しょうがいしゃさくすいしん そうごうてき とりくみ ししん
この計画は、調布市の障害者施策推進における総合的な取組の指針となります

しょうがいしゃきほんほう さだ しょうがいしゃけいかく しょうがいしゃじりつしえんほう さだ しょうがいふくし
※ 障害者基本法に定められた障害者計画、障害者自立支援法に定められた障害福祉
けいかく いったいか さくてい
計画を一体化して策定しています。

ほんけいかく けいかくきかん しょうがいしゃけいかく しょうがいふくしけいかく
※ 本計画の計画期間は、障害者計画（6年）、障害福祉計画（3年）とします。た
だし、国の制度改革など、調布市を取りまく社会状況の変化等により、計画期間
くない せいどけいかく ちょうふし と しゃかいじょうきょう へんかとう けいかくきかん
内に必要な見直しを図ることも想定しています。



計画のポイント

ポイント 1

障害者総合計画は、市民みんなの計画で、市民一人ひとりが「主人公」です。

障害のある人に何らかの「生活のしづらさ」があるのであれば、もしかすると、それは障害のない人にとっても、同じ様に、様々な「生活のしづらさ」が生じているかもしれません。まさに障害の分野から地域を見直し、生活上の課題を洗い出すことが、結果的には障害のある人はもちろん、調布市民一人ひとりの生活の質の向上につながるものと考えます。

ポイント 2

地域の環境整備に大きな視点を - まちが変わる、人と人がふれあう -

今日の世界的な動向として、「生活のしづらさ」をもたらす大きな要因に「社会的な障壁」の存在があることが着目されています。それは段差などの物理的な障壁だけではなく、文化・情報面での障壁、意識上の障壁（心の壁）など、ハード・ソフト合わせた障壁です。

このような環境によっても「障害」が発生するのであれば、まさに「地域の環境づくり」が重要となります。「まちが変わる、人と人とがふれあう」、これを計画の大きな方向性としています。

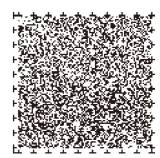
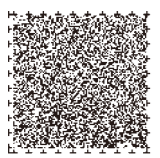
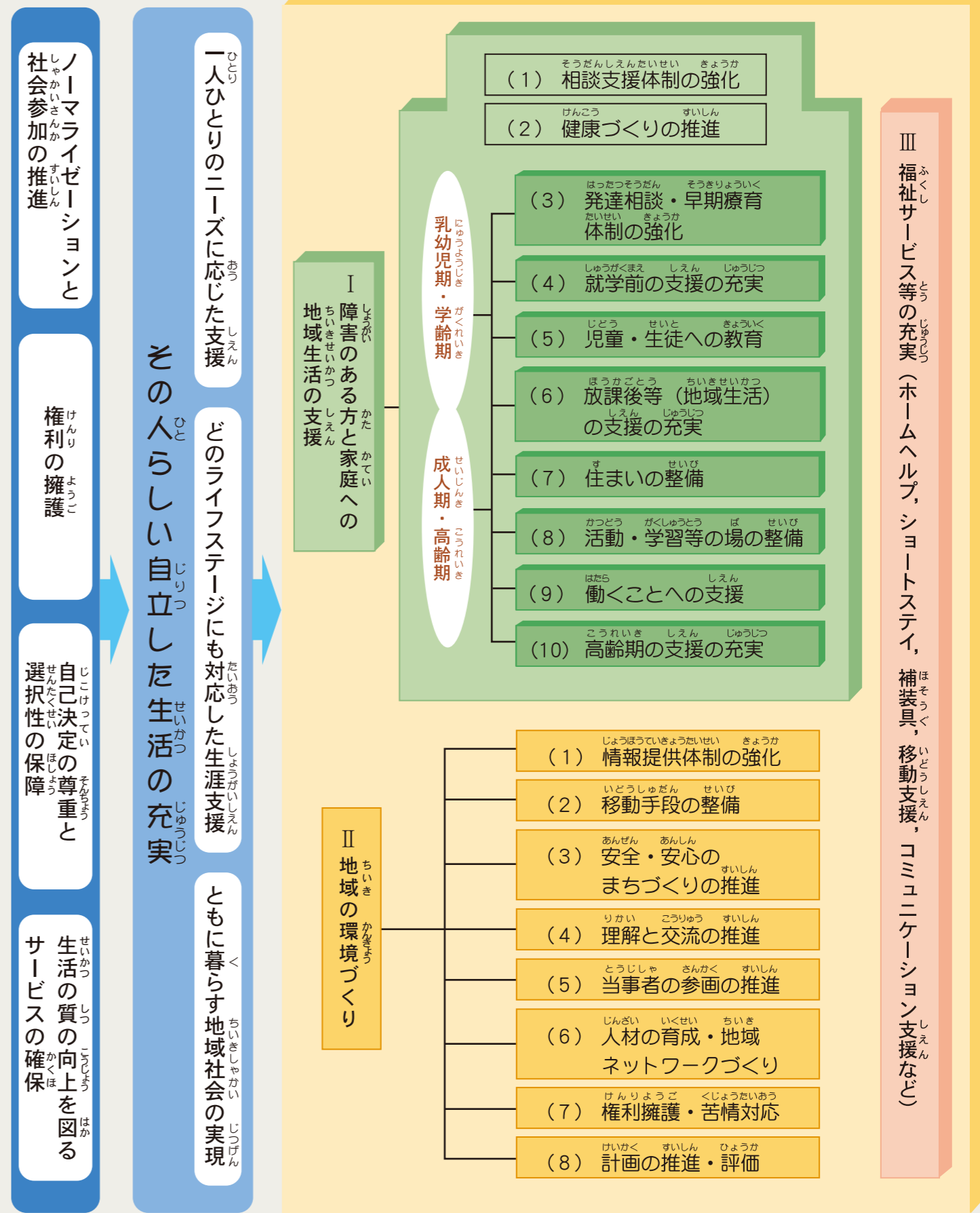
ポイント 3

一人ひとりのかけがえのない人生、ライフステージを切れ目なく支える

人生には、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期といった各ライフステージがあります。一人ひとりのかけがえのない人生を支えていくためには、ライフステージの転換のときに、もれなく制度の切れ目がないように（シームレスに）、しっかりと支えていくことを基本に、様々な施策が展開されることが重要と考えます。

このような方向性の中で、誰もが人生の「主人公」として、それぞれの人生を、地域社会の中で、ともに人々と暮らす中で充実させ、輝いていられるまち・調布をめざします。

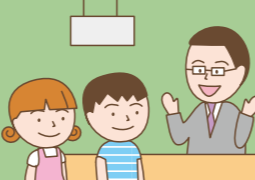
施策の体系




事業計画の概要

ライフステージを
きめ
切れ目なく支える

(1) 相談支援体制の強化
 総合的な相談支援体制の構築, アウトリーチ（訪問）支援の展開
 身近な地域における相談支援の実施, 障害の特性に応じた専門相談の展開
 地域移行への対応




(2) 健康づくりの推進
 地域における医療体制の整備, 健康づくり・予防



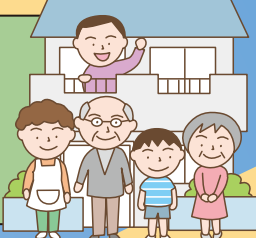
(9) 働くことへの支援
 働く場の充実,
 就労に向けた相談等の実施



(10) 高齢期の支援の充実
 高齢の障害のある方やそのご家族への相談支援の展開
 高齢の障害のある方の日中活動への支援

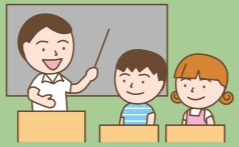


(7) 住まいの整備
 グループホーム・ケアホーム等の住まいの充実
 居住支援の強化



こうれいき
高齢期

(5) 児童・生徒への教育
 特別支援教育の推進, 教育相談の充実
 不登校などの悩みを抱える児童・生徒への支援体制の充実




せいじんき
成人期

(8) 活動・学習等の場の整備
 地域における多様な活動の支援
 日中活動系サービス等の充実




(3) 発達相談・早期療育体制の強化
 子どもの発達に関する相談支援体制の強化
 早期からの子育て支援体制の強化



がくれいき
学齢期


(6) 放課後等（地域生活）の支援の充実
 多様な放課後等の活動の展開
 学齢期の子どもがいる家庭への子育て支援



ふくし
福祉サービス等
の充実

にゅうようじき
乳幼児期

(4) 就学前の支援の充実
 早期療育・早期支援体制の整備
 保護者の緊急時等の子育て支援の強化
 就学に備えた支援体制の充実



ちいき かんきょう
地域の環境づくり

(1) 情報提供体制の強化
 情報バリアフリー化への対応
 多様な情報の提供体制の整備

(2) 移動手段の整備
 移動支援等のサービスの充実
 公共交通機関の利用や福祉タクシー等の充実

(3) 安全・安心のまちづくりの推進
 誰もが交流できるユニバーサルデザインのまちづくり
 災害時の対応の強化, 緊急時等への対応の強化

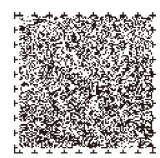
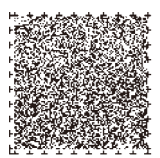
(4) 理解と交流の推進
 市民同士の交流機会の充実
 障害についての理解の推進

(5) 当事者の参画の推進
 市政への参画の推進
 当事者活動への支援

(6) 人材の育成・地域ネットワークづくり
 専門人材の育成, ボランティア活動等市民活動の活性化
 地域のネットワークの整備と強化

(7) 権利擁護・苦情対応
 権利擁護体制の強化, 虐待防止への対応
 苦情対応等サービスの質の向上

(8) 計画の推進・評価
 本計画の円滑な進行管理の実施



福祉サービスの全体像

ちょうふし なか
調布市の中

ものをつくり、絵をかいたり、生活や働くための訓練をしたり、いろいろな活動があるよ。

ひるま かよ
昼間に通うところ

かいしゃ ひと
会社ではたきたい人が、たくさん就職できるようにしていくよ！

いっばん しゅうろう
一般 就労

はたら
働く

びょういん じゅういんちゅう ひと ちいき せいかつ
病院に入院中の人が、地域で生活できるようにしていくよ！

たいいんそくしん
退院促進

がいしゅつ てつだ
外出の手伝い

ヘルパーさんが、外出のお手伝いをしてくれるよ。

びょういん
病院
せいしんか
(精神科など)

(ホームヘルプなど)

いえ
家にヘルパーさんが来て、ごはんやお風呂など、身の回りのお世話をしてくれるよ。

す
住まい

にゅうしょせつ
入所施設
せんもんてき しえん
(専門的な支援を受けながら暮らす)

ちいきせいかつこう
地域生活移行

たんきにゆうしょ
(短期入所)

かぞく ようじ
家族に用事があるときなど、ちょっとの間、家から離れて、施設で暮らすこともできるよ。

いえ
家
かぞく
(家族と暮らす)
ひとり
(ひとりで暮らす)

グループホーム
ケアホーム
せわじんのお世話をうけながら、少人数で暮らす

しせつ
施設で暮らしている人が、地域で生活できるようにしていくんだよ！

そうだんしえん
相談支援

いっしょに
がんばるよ。

こま
困ったときや、あたらしくサービスを利用したいときに相談にのってくれるよ。

ひつよう
必要となるいろいろなサービスを、うまく組み合わせてくれるよ。

りよう
サービス利用などの計画

ちいきじりつしえんきょうぎかい
地域自立支援協議会

いろいろな人が集まって、地域生活を支えるしくみを検討するんだ。

しょうがい ほんにん かぞく
障害のある本人や家族

ネットワーク

がっこう せんせい
学校の先生

いしや
お医者さん

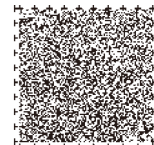
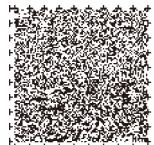
ちいき ひと
地域の人

みせ ひと
お店の人

ふくしせつ ひと
福祉施設の 人

やくしょ ひと
役所の人

ざいさん
財産をまもってくれる人



へいせい ねんど 平成26年度にめざすサービス



へいせい ねんど
平成26年度までの
もくよう
目標だよ！

サービスの種類		内容	平成23年度の ようす	平成26年度の もくよう 目標
ヘルパーなび	きょたくかいご 居宅介護(ホームヘルプ) じゅうどうほうもんかいご 重度訪問介護 こうどうえんご 行動援護 じゅうどうしょうがいしゃとうほうかつしえん 重度障害者等包括支援 どうこうえんご 同行援護	いえ 家にヘルパーが来て、身の回りの手 つだ 伝いをしてくれます。サービスは、 ないよう 内容によって5種類あります。	じかん 114,500時間	じかん 154,200時間
	たんぎにゅうしょ 短期入所	かぞく ようじ 家族に用事があるときに、家からは い なれて施設で短期間、泊まることが でき できます。	にん 115人	にん 130人
居間に通いこむ	せいかつかいご 生活介護	しょくじ 食事やトイレなどの世話を受けなが ら、 さぎょう 作業をしたりレクリエーション をし します。	にん 333人	にん 379人
	じりつくんれん きのうくんれん 自立訓練 (機能訓練)	からだ うご くんれん 体をうまく動かす訓練をしたり、自 ぶん 分の身の回りのことができるように くんれん 訓練を受けられます。	にん 5人	にん 5人
	じりつくんれん せいかつくんれん 自立訓練 (生活訓練)	くんれん 訓練を受けられます。	にん 13人	にん 60人
	しゅうろういこうしえん 就労移行支援	かいしゃ しゅうりやく 会社に就職するための訓練を受けら れ れます。	にん 57人	にん 68人
	しゅうろうけいぞくしえん がた 就労継続支援 A型	かいしゃいがい ばしょ しえん う 会社以外の場所で、支援を受けなが ら 働 くことができます。	にん 2人	にん 4人
	しゅうろうけいぞくしえん がた 就労継続支援 B型	はたら 働 くことができます。	にん 405人	にん 487人
	じどうはつたつしえん 児童発達支援 いりょうがたじどうはつたつしえん 医療型児童発達支援 あたら (新しいサービスです)	しょうがい こ かよ にちじょう 障害のある子どもたちが通い、日常 せい 生活などの訓練を行います。	—	にん 45人
ほうかごとう 放課後等デイサービス あたら (新しいサービスです)	がっこう かよ しょうがい こ 学校に通う障害のある子どもたちの ほうかご なつやす ちゅう かつどうばしょ 放課後や夏休み中などの活動場所 で す。	—	にん 146人	
住まい	グループホーム ケアホーム	しょうがい ひと しょうにんずう せわにん 障害のある人が、少人数で、世話人 などから身の回りの世話をしてもら い ながら、 きょうどう せい 共同で生活できます。	にん 120人	にん 160人
けいかくそうだんしえん 計画相談支援 (サービス等利用計画作成)	さまざま サービスを ちようせい しょうがい 様々なサービスを調整し、障害のあ る 方 のケアプランを作成します。	にん 47人	にん 1,000人	
コミュニケーション支援 しゅわつうやく (手話通訳・要約筆記)	ちようかく しょうがい かつ しゅわつうやくしゃ 聴覚に障害のある方に手話通訳者や しゅわつうやくひつきしゃ 要約筆記者を派遣します。	にん 731人	にん 745人	
いどうしえん 移動支援	ヘルパーが、外出のお手伝いをして く れます。	じかん 14,761時間	じかん 14,210時間	



はっこう ちようふしふくしけんこうぶしやうがいきんくしか
【発行】調布市福祉健康部障害福祉課

ちようふしこじまちやう
〒182-8511 調布市小島町2-35-1

TEL 042-481-7094 FAX 042-481-4288